



# 平成灯台守

2025. 6 月号

発行/御前埼灯台を守る会

## 令和 7 年度灯台を守る会総会を開催

令和 7 年度御前埼灯台を守る会総会が 5 月 3 日灯台前広場で開催され、6 年度事業・決算報告、7 年度事業方針・予算案が承認されました。主なものをお知らせします。

### 令和 6 年度

#### 灯台資料館開設 46 日、9 千人が入館

6 年度は灯台資料館を 46 日開設し、延べ入館者は 9,018 人で、御前埼港に外国籍客船が 2 隻寄港したことや灯台 150 周年記念式典、関連イベントが行われたことにより前の年よりも 1,823 人増加しました。



【外国人観光客も増えてきた灯台資料館】

#### 150 周年記念関連で過去最高の決算

収支決算額は収入 85.5 万円、支出 74.9 万円で、灯台 150 周年記念関連事業を実施したことや資料展示ケースの購入などにより前年度よりも 2 倍近い額となりました。

財源は会費 15.9 万円（139 人、3 団体）、協賛金 11.9 万円、事業積立金の取崩しによる繰入金 13・6 万円、御前埼海上保安協会寄付金等雑収入 31.3 万円が主なものです。

### 令和 7 年度

#### 平年並みの収支 40 万円を計上

7 年度の事業は、御前埼灯台の歴史文化

の伝承及び保存を目標に灯台資料館の開設、調査研修、町内会回覧や灯台展などの広報事業を計画しました。特に今年は江戸時代初期に現在の灯台の前身となる見尾火灯明堂が設置されてから 390 年の節目に当たるのでそれを紹介する資料展示や復元灯明堂を活用した活動を考えています。

収支予算は 40 万円。財源は会費 15 万円、繰越金 10.5 万円、灯台構内草刈作業受託料 7.9 万円が主なものです。

#### 灯明堂「あんどん」の灯を確認

灯台を守る会では 5 月 3 日の夕方、見尾火灯明堂の「あんどん」に灯りを点して御前埼灯台の光と見比べました。【写真】



植物油を染み込ませた灯芯に火が点されると、1.27m 四方の障子紙張りの行灯がオレンジ色に輝き、見学者から「おっ、意外と明るいじゃん」との声が飛び交いました。当時の航海は「地乗り航法」といって陸地が見える距離を航行していたので、暗闇にポツンと見える小さな灯りでも頼りになったことと思われます。

#### 栗山さん(池新田)から油絵を寄贈

池新田の栗山芳江さんからご主人の誠さん(故人)が御前埼灯台を描いた油絵 2 点をいただきました。作品は資料館に展示してありますのでご覧ください。



by masatoshi



【ポスター制作 伊村洋之会員】



【優雅で楽しいフラダンスを披露した Ui Lahua】



【灯台まつりに欠かせない御小児童のソーラン節踊り】



【チーム結成 30 年余、元気に踊るドリームメイト】



【観客もうなずいた ブラスアルファの見事な演奏】



【元漁師の指導で御前埼のカツオー一本釣りを体験】



【岬にとどろく「なぶら御前太鼓保存会」の太鼓演奏は“御前埼の夏到来”を告げる】

【この他灯台まつりには、うめたちあきミニライブ、B7 バンド演奏、仮装珍どん演舞などが賑わいを創出してくれた】